

A班:酒井、佐久間、諸伏、山田。







目次

- *新聞記事
- *記事要約
- *現状分析
- *問題意識
- *政策提言
- *試算
- *参考文献











*新聞記事(2015年6月11日読売新聞)

鳥獣農作物被害5年ぶり増

2014年度に県内市町が被った野生鳥獣による農作物被害額は4億7658万円(速報値)で、5年ぶりに増加に転じたことが県のまとめでわかった。県では、伊豆市で昨年7月、シカを駆除していた猟友会員が仲間の誤射で死亡した事故を受け、一部の猟友会が猟を自粛したのが増加の主な原因だとみている。

県農山村共生課によると、農作物被害額は、「10年度から市町や農協で、専門職員の養成を始めた」(担当者)こともあって、6億9618万円だった09年度をピークに、13年度(4億3746万円)まで減りつづけてきた。

14年度の被害額を動物別に見ると、イノシシが最も多い1億7602万円で、ニホンジカが1億4304万円、サルが4250万円。この3種類で全体の7割以上を占める。富士山麓、伊豆地域での被害が目立つという。

県は、農作物被害対策の道筋を示した「野生鳥獣被害緊急対策アクションプログラム」 の14~17年度版に、17年度の被害額を3億5000万円に抑える目標を掲げている。今 年度は、駆除を行うハンターの担い手を確保するための取り組みを本格化させる方針 だ。









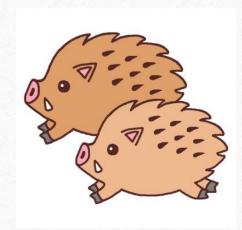
*記事要約

・2014年度の静岡県の鳥獣による農作物被害額が5年ぶりに増加

・増加原因は猟の自粛

・動物別被害額ではイノシシが最多





・対策として、ハンター確保を狙う









現状分析









◎静岡県の野生鳥獣における農業被害状況

・以前は増加傾向にあったが、近年は減少している



鳥獣被害対策マニュアルの作成

年度別被害金額の推移 25,000 20,000 10,000 5,000 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 ーイノシシ ーニホンジカ ーサル

(「野生鳥獣による農作物への被害状況」を元に作成)







◎静岡県の被害対策マニュアルの内容



・鳥獣別被害防止対策(イノシシ、シカ、サルなど)

・捕獲に関する法律の紹介

・鳥獣を食す際の注意点

・県内、県外での取り組み紹介









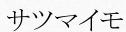
◎おもな農作物被害



イネ



















問題意識





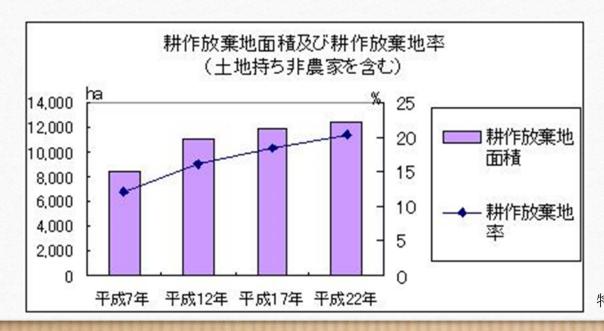




山間地域の過疎化・高齢化による耕作地の減少



イノシシやシカの餌場や隠れ家としての好適な環境の増加

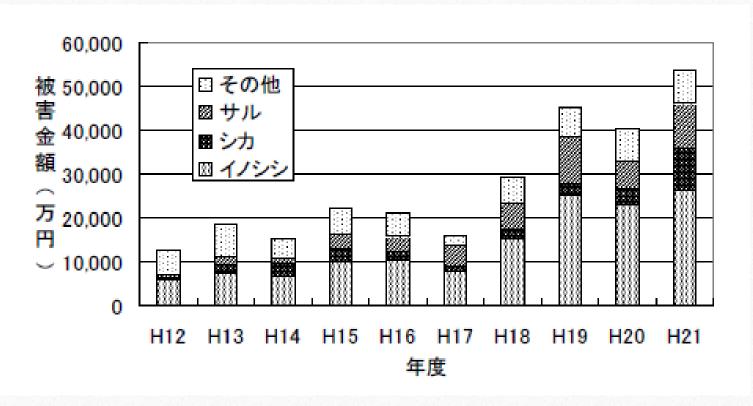








◎農作物の県内被害額の推移





林産物(キノコ類、タケノコ、ワサビ、山菜類、樹実類等)は除く。



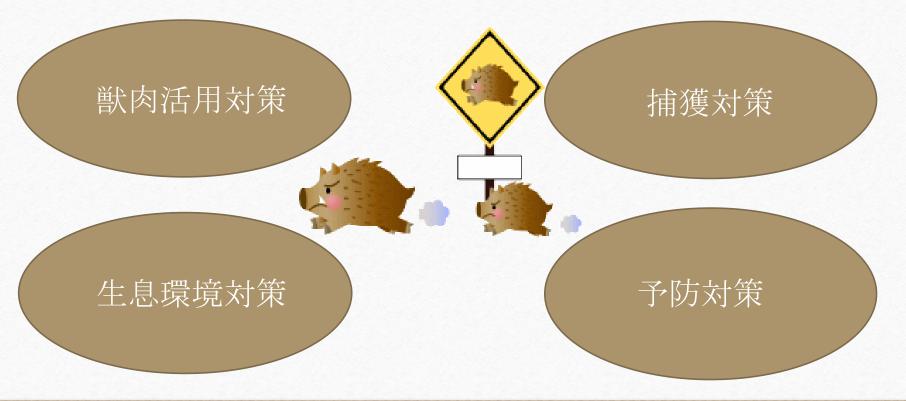






◎静岡県における鳥獣被害に対する基本的な考え方(2010年)

市町村と市民が一体となって「有害鳥獣と戦うまちづくり」の実現を図る











市町村

県

推進体制

被害地域

狩猟者

被害対策 アドバイザー

県民









- ・県や関係団体など様々な組織が一体となって対策を講じる体制が確立
- ・様々な鳥獣被害防止対策は行われている



対策は、なされているが 後害が増加してしまった(狩猟の自粛が原因)

被害軽減につながる間接的なアプローチはないだろうか・・・?









政策提言



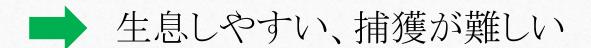






草むらがあると...

イノシシやシカが身を隠すことが出来てしまう





個体数を減少させられず、農作物被害を軽減させられない

それならば

ヤギに食べてもらって草むらを減らしてしまおう!





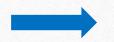




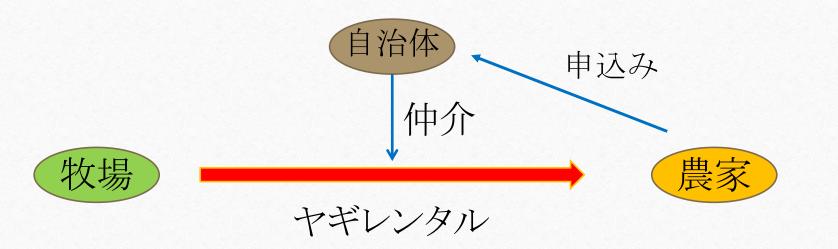
そこで・・・

ヤギレンタル制度

自治体が牧場から農家へのヤギレンタルを斡旋



農家がヤギを飼育







~ヤギレンタルのメリット~

- 1. エサはもちろん草 → 草むら減少
- 2.草刈り機導入よりも費用が安い
- 3.ヤギのふんが堆肥として利用可能
- 4. 癒しの効果









1, 草むら減少

ヤギは斜面でも歩くことが出来る



斜面の雑草でも難なく食べてしまう

草むらが減少すると...

イノシシやシカの被害防止、捕獲易化

2014年 改正鳥獣保護法施行

イノシシやニホンジカは特定鳥獣として個体数管理が求められる







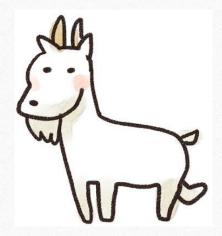


2, 草刈り機よりも費用が安い

ヤギの動力は草

ガソリンを使わない=ガソリン代がかからない

刈り取った草を廃棄する手間がかからない







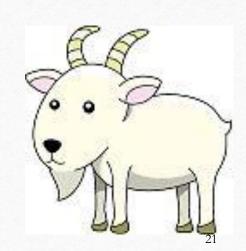
唯一残ってしまうふんは...

3, 堆肥として利用可能

臭いもほとんどなく、負担は少ない

4、ヤギの癒し効果

アニマルセラピーとしての価値を期待











~ヤギレンタルのデメリット~

- 1.即効性がない
- 2.ヤギが夏バテする可能性
- 3. 盗難のリスク









試算









○試算

ヤギレンタルを行った場合と、行わずに草刈業者に依頼した場合の農家の除草費用を比較する 農家の土地面積を1ha、耕作放棄地率20%とする。

農家の、除草が必要な土地の面積は 1×10,000×0.2=2,000㎡

草刈業者の依頼価格は、600m²あたり30,000円なので、 2,000×30,000/600=100,000 つまり、草刈業者に依頼した際の農家の除草費用は10万円となる









ヤギを2か月間レンタルすると設定する。 ヤギは1日あたり $10m^2$ の草を食べるので 1頭あたり、 $2か月間で<math>10\times60=600m^2$ の草を食べる。 農家の除草が必要な土地は $2,000m^2$ なので、 $2,000\div600=3.33...$ つまり、1農家あたり、4頭のヤギが必要。

ヤギのレンタル費用は1頭あたり15,000円なので、 $15,000 \times 4 = 60,000$ つまり、農家のヤギレンタルを行った場合の除草費用は6万円となる。











◎参考文献

- ◎ ヤギの科学(シリーズ 家畜の科学) 中西良孝著 朝倉書店(2014年10月出版)
- ◎ 鳥獣農作物被害 5年ぶり増 http://www.yomiuri.co.jp/local/shizuoka/news/20150610-OYTNT50391.html (6月22日閲覧)
- 静岡県鳥獣被害対策マニュアルhttp://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-325/chouzyu/manyuaru.html (6月23日閲覧)
- ◎静岡県における野生鳥獣被害対策の基本的な考え方 http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-325/chouzyu/documents/kihon.pdf (6月23日閲覧)
- ○ふじの国 静岡県公式ホームページ 鳥獣被害 http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-325/chouzyu/(6月23日閲覧)



